

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年5月21日(木)13時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他14名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・荷重の組み合わせの考え方について、敷地内への津波の侵入を許容する前提を踏まえて組み合わせを検討しているのであれば、その旨を資料中で明確に示すこと。
- ・分離精製工場(MP)の建屋を、HAW建屋及びTVF建屋への漂流物からの防護対策と位置づけるのであれば、その強度評価が今後必要であることを明確にすること。

(資料5について)

- ・資料中で応力-荷重の換算に用いている断面積について、有効断面積を用いている箇所と呼び径に基づく断面積を使用している箇所が混在していることから、記載を整理すること。

(資料7及び資料8について)

- ・ガイドの要求事項への対応については、現在の整理状況を次回会合において可能な限り内容を資料に示して説明すること。

(資料11について)

- ・今後行う予定としているアクセスルートの評価においては、機構の管理外の一般構造物の影響も考慮した上で説明できるようにすること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

- 資料 1 : HAW 建家健全性評価（波力、余震重畳）について
- 資料 2 : 東海再処理施設における代表漂流物の選定について
- 資料 3 : 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及び配管トレンチ（T21）周辺の地盤改良工事期間における重大事故対処への配慮について
- 資料 4 : 耐震計算における機器と配管・ダクト等との接合部の取り合いの扱いについて
- 資料 5 : 高放射性廃液貯蔵場（HAW 施設）高放射性廃液貯槽の据付ボルトのせん断強度と安全裕度の向上に関する検討について
- 資料 6 : 建物・構築物及び機器・配管系の構造（耐震性）の評価で使用した計算機プログラム（解析コード）の概要
- 資料 7 : 廃止措置計画用設計津波及び耐津波設計方針に係る工認審査ガイドへの対応について
- 資料 8 : 「基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」への対応状況について
- 資料 9 : TVF 建家健全性評価（波力、余震重畳）について
- 資料 10 : TVF の建家及び機器・配管系の耐震計算書の提示スケジュールについて
- 資料 11 : HAW 施設及び TVF における事故対処の方法、設備及びその有効性評価について
- 資料 12 : ガラス固化技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
- 資料 13 : 再処理施設保安規定の変更認可申請について